

ありがとう

総社中央小学校だより



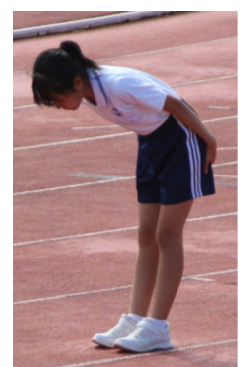
No10

令和5年10月12日
校長 藤本千登世

全力を出し切った陸上記録会（6年）

10月4日、総社北公園で総社市陸上記録会が開催されました。6年生は、100m走・60mハードル・走り幅跳び・走り高跳び・ソフトボール投げの5種目のうち、全員1種目に挑戦し、全力を出し切りました。

3週間前から練習に励み、努力を続けてきた6年生に拍手です。また、友達だけでなく、他校の人の競技にも拍手を送ったり、競技が終わるとお辞儀をしたりする姿はさすがでした。6年の学年目標「**全力**」を**合言葉**に頑張ってきた子ども達は、陸上記録会を通して多くのことを学びました。この学びを生かし、総社中央小のリーダーとしてのさらなる活躍を期待しています。



地域の方と心の触れ合いを（ふるさと愛）

ふるさとを大切にするには、美しい総社の環境を守ることや、地域の人との心の触れ合いを大切にすることが大切だと思います。それでは、「心の触れ合い」とはどんなことでしょうか？と朝礼で投げかけ、具体例として、総社中央小の素敵な話を3つ紹介しました。

1つ目。敬老の日に、総社中央小で「敬老会」がありました。4・5・6年の皆さんは、学区に住む80歳以上のお年寄り約500人全員に手紙を書きました。手紙は、役員の方から渡していただきましたが、手紙を受け取ったお年寄りの方は、大変喜ばれ、「心のこもったお手紙をありがとうございました」という電話や手紙が次々と届きました。優しさを届けた4・5・6年の皆さん、ありがとうございました。

2つ目。敬老会の時に、役員の方が教えてくださった話です。中須加集会所で、お年寄りの方々に配るための、たくさんの景品を車に運んでいた時のことです。6年生の横田仁音さんと福田雅宗さんが「手伝います」と声をかけ、運ぶのを手伝ったそうです。思いやりの心ですね。「大人でもなかなかできない。すばらしい。」と大変うれしそうでした。

3つ目。毎朝、正門に立って笑顔で挨拶運動をしている6年生が十数人います。中央小の人にだけでなく、道路を通る地域の方にも挨拶をしているのが素晴らしいです。いつもありがとう。みなさんも、毎朝、登校を見守ってくださっているボランティアの方に挨拶をして感謝の気持ちを伝えていることでしょうか。みなさんの笑顔や挨拶は、地域の人に元気や喜びを与えているのですよ。素敵なことですね。

みなさんの思いやりや笑顔、あいさつなどで、地域の方と心のふれあいをし、「ふるさと総社」をもっと素敵なまちにしていきましょう。

「自立した学習者づくり」を目指して

「『家庭での学習習慣の定着』という目的は、大きな山を6年間かけて登るようなものだ」と書籍に書いてありました。学力の向上に特効薬はありません。地道なことの積み重ねがやがて大きな力になります。まさに「継続は力なり」です。

家庭学習の充実を目指して、音読カードなどに家庭学習の目標時間（学年×10+10分）が達成できたか毎日振り返る欄を設けて取り組んでいます。いつもご協力いただきありがとうございます。家庭学習をしたかどうかの確認に加え、家庭学習の時間や内容など自主学習等の取り組み方についても褒めたり励ましたりしてくださることで、お子様のやる気アップにつながると思います。

これからも「家庭での学習習慣の定着」「自立した学習者づくり」を目指して、学校と家庭が連携して取り組んで参りたいと思います。今後ともご協力よろしくお願ひいたします。



自主学習ノートを6冊、4A	さんが35冊、6B	さんが20冊、4A
さん・5B	さんが25冊、5B	さんが15冊、6B
さん・4A	さん・4B	さん・
さん・4B	さんが10冊、4A	さん・
さん・3B	さんが5冊終了しました。	さん・

おめでとうございます！

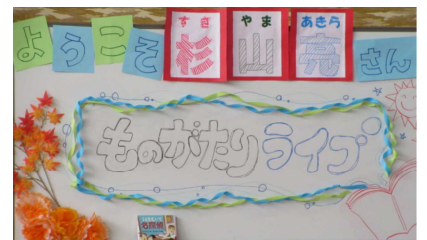
心を動かされた「ものがたりライブ」



10月2日、PTA主催で、児童作家の杉山亮さんによる「ものがたりライブ」が開催されました。低・中・高学年に分かれてお話を聞きましたが、児童は想像を膨らませながらお話の世界に入り込んでいました。大人も子どもも杉山さんの話術に引き込まれ、大変楽しいひと時となりました。

杉山亮さんは、「**子どもの健やかな成長に、多くの物語を聞き、心を動きやすくすることが大切**」と言われています。物語を聞く体験を通して、物語の楽しさを味わい、読書に興味を持つ児童が増えることを願っています。

家読の取組、ありがとうございました。秋の夜長、ご家庭で読書や家読の時間をとってみたいかがでしょうか。



手遊び楽しい！